



第26回国労東日本本部定期大会が岩手県盛岡市・ホテル紫苑で9月7日～8日に開催されました。大会では、経過報告で5名、一般討論で18名の代議員から発言されました。ほとんどの代議員から組織拡大の報告がされ、職場の労働条件・エルダー社員、嘱託社員契約社員などの労働条件・厳しい職場の実態が報告されました。方針書の中の労働協約について修正動議が提出され採決する場面もあり活発な討論になりました。

組織拡大を最重要課題とし 職場の労働条件改善を



NO. 764
発行
12・9月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

第26回国労東日本本部 定期大会の開催・盛岡市

佐藤副委員長
開会あいさつ



不採用差別事件の解決後、その闘いを総括。労働組合の団結と統一労働条件改善について真剣に闘ってきた。この1年間、職場・地域で闘ってきたことを今大会で相互交流し学んでいきたい」と開会あいさつがあり大会がスタートしました。

はじめに佐藤副委員長から「9地本3地区本部は組織拡大、労働条件改善、安全・安定輸送などの問題に全力で取り組んできた。JR

議長団の選出
盛岡・阿部代議員
水戸・坂本代議員
代議員は54名中54名の出席で大

会役員は婦人部長以外は全員の出席を確認、大会は成立しました。議長団は盛岡地本の阿部代議員が議長、水戸地本の坂本代議員が副議長に選出されました。



阿部議長から「3・11東日本大震災から1年半が過ぎたが復旧・復興の目的がたっていない。地域の足の確保についてバスの輸送システムから、1日も早い街の復旧

を鉄道で。総合交通体系達成に向けて運動を強めていきたい。国労運動の発展・継承のために、ひとつになって総団結となる大会としたい」とあいさつがありました。

その後、高野委員長のあいさつ。来賓には国労弁護団・関東交運労働議長・国労本部などあいさつがあり、経過報告・方針案の提案など行われました。第一日目終了後、学習会の開催もあり充実した日程でした。



編集後記

連日、猛暑が続いています。たびたび最高気温が全国一位とマスコミなどで報道されています。彼岸が来れば暑さが和らぐと思っていました。次号は、エリア大会の代議員の発言など中心に編集します。大会情報などはエリアの機関紙を後日参照してください。よろしくお願

高野委員長あいさつ

3・11 東日本大震災から1年半が経過した。復旧・復興が進んでいない現状の中、福島原発についても放射能汚染など深刻な状況が続いている。政府は再稼働させる中、反原発集会に17万人が結集、全国的に闘いが展開されている。エネルギー政策についても反原発の闘いは重要だ。国会は混乱している中、政治に対して不信感が大きくなってきている。今後、衆院選では国民を巻き込んだ闘いを強めていく。

組織拡大～最重要課題として取り組んできた。地方でも取り組んでいる。昨年、18名の拡大があった。一括和解から100名を超える拡大になった。組織拡大は、もっとも重要な課題として取り組んでいく。国労は職場で中心に、要求改善など取り組みながら進めていく。大量退職時期までに組織拡大を達成していく。

安全・安定輸送～4月29日高速ツアーバス事故が発生した。事故原因は規制緩和が要因、会社間の競争激化で労働条件の切り下げが大きな原因になっている。駅業務の委託化・検修外注化がされる。安全・安定輸送に向けた取り組みを進めていく。10月1日から実施されるが安全をどう担保するのか、どこに問題があるのか議論し会社を追及していく。

新人事賃金制度～公平・公正な試験制度・透明性を追及していく。

労働協約～一括和解に基づき公平・公正を追及していく。

組織拡大・2013春闘・労働条件改善などそれぞれの課題について全力で取り組んでいこう。



KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
 発 行 所
 新潟市秋葉区善道町1-1-1
 〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
 FAX 0250-24-8337
 2012年8月25日 No. 87号
 発行責任者 大湊 茂
 発 行 者 野村 正三

2,926m 薬師岳 報告

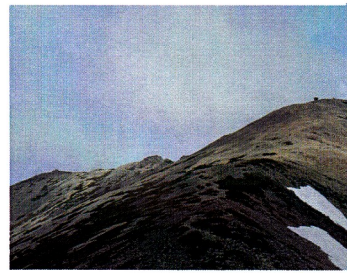
とき 7月23日(月)24日(火)
 集合場所 国労地本前 早朝5時

薬師岳山頂は曇りでした



参加者=大湊・石津・長沢・野村

薬師岳は大きい山でした



早朝5時、国労事務所前で集合、近くのコンビニで朝飯とお昼を買い一路富山市有峰湖有料ゲートで1800円を払い、折立へ向かう。8時53分到着、早速身支度、折立登山口へは9:00出発しました。三角点には10:30到着、

天気によければ、ここからずっと北面に「剱岳～立山」を眺めながら歩くことができるのだが、今のところ雲が覆っています。

今回の薬師岳は、3年前風間さんと石津さんが雲ノ平へ行っただけのとき約束していたモノで、

そこに我々が便乗したわけで、肝心の風間さんは、親戚に不幸があつて残念なことに行かれなくなりました。それと、樋口さんも参加予定でしたが、6人だと窮屈なので今回は辞退しました。お気遣い有難うございます。(^o^)

太郎平小屋 13:05 到着、そこからは薬師岳、水晶岳、鷲羽岳、黒部五郎岳の展望がすばらしい(*。*)

太郎兵衛平の広々とした木道を歩いて、キャンプ場指定地にもなっている薬師峠へ一旦下る。キャンプ場の水場で水を補給した。ここからは、沢づたいに登山道を登っていく。昨日大雨が降りこの沢が通行できなくなったそうです。私たちは、ラッキーでした。沢沿いには、花期のおわったミズバショウ、丸いギザギザ葉をもつリュウキンカ、シナノキンバイ、キヌガサソウ、サンカヨウ、ハクサンイチゲがこの花は、花弁や茎も大きい。沢を登りつめ、ところどころ雪渓を横切って、薬師平へ。広々とした薬師平からは、槍ヶ岳が鋭く立ち上がって見える。この沢の登りは、キツイ登り、たっぷり2時間かかり薬師岳山荘には、15時07分到着しました。<(^-^)>

チョットと石津氏が脱水症状に陥り、大変でしたが翌日の山頂めざしで頑張りました。吐きながら登ったあ。(@_@)

薬師岳山荘はきれいでしたよー。気持ち良いです。談話室と食堂双方に大きな液晶テレビがありトイレもきれい。難点は、水(有料)雨水で限られます。私たちは予め、下

薬師岳山頂 薬師如来



から担いできましたので良かったです。

7月24日(火)

薬師岳山荘から薬師岳に向け5:30分開始し山頂6:18分着。山頂は、ガスがかかり近隣の峰々がよく見えなかったが堂々

とした山でした。北アルプスの名峰の一つ薬師岳は、北に室堂に続く尾根、南に太郎平を経て 黒部五郎岳に続く尾根を抱え、南北に長い尾根を持つ雄大な山容で知られ、東側、黒部川に向かって国の天然記念物に指定された4つの大きなカールを持っています。山頂の小祠(しょうし)には薬師如来(にょらい)などが祀(まつ)られている。

山荘を8:00に出て太郎平には9:00 途中休憩を取りながら三角点でお昼を食べ12:17分登山口に下山しました。

亀谷温泉白樺ハイツで入浴(600円)をし汗を流して、国労事務所には17:00に到着しました。

以上

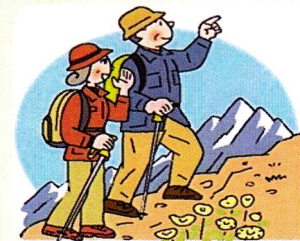


太郎平にて



薬師岳山荘にて

山遭難、60歳以上半数 死亡、不明の7割も



昨年1年間全国で発生した山岳遭難事故で、遭難者約2200人の半数超を60歳以上が占めたことが21日、警視庁のまとめで分かりました。

今年も5月にも、長野県の白馬岳で63～78歳の男性6人が死亡するなどしており、

同行は「しっかり事前準備し、余裕のある登山を心掛けてほしい」と呼び掛けています。

山の遭難は前年比112件減の1830件、遭難者数は同192人減の2204人で、うち60歳以上が1118人と50.7%を占めました。死者・行方不明者275人のうち、60歳以上は69.1%(190人)でした。

都道府県別の遭難件数は、長野県が227件と最多で、北海道138件、富山県116件の順です。

※わが山の会もくれぐれ注意してください。